



北海道地方

北海道上川郡の名寄大橋の完工

北海道上川郡名寄町地内の天鹽川に架設中なりし名寄大橋は、昭和七、八兩年度に亘り、旭川土木事務所の直營にて、總工費二十萬圓を投じて鋭意工作を急いでゐたが今同見事に竣工したので、五月二十八日町の主催にて盛大なる完工式が舉行された。

同橋は、橋間百九十八メートルにして、完成の上は北海道十大橋の一つになるであらう。尙、橋名は佐上北海道長官の達筆に

地方通信

關東地方

帝都の騒音防止デー

東京市内警視廳管下の交通安全デーは、五月十一日より三日間に亘りて、管下各署の警官並に青年團員總動員のもとに頗る大々的に舉行されたが、この交通安全デーのうち特に異彩を放ち、街頭通行人の最も注意を惹いたものは、信號機のベルが休止されたことであつた。即ち、街路騒音防止の一策として信號機のベルを止め赤橙緑の色別のみに依りて通行させたといふことであ

よるものである。

つた。

この期間中は「信號に従へ」「横断は横断歩道で」「車道へ出るな」などの大旗を立て、交通安全及び騒音防止に努めたのであつたが、非常な好成绩を挙げた由である。

尙ほ、騒音防止に就いては、過去十年來の懸案にされてゐた事項を試験的に實施したものであつたが、豫期以上の成績を挙げた由であるが、電車の雑音のみは都市の騒音として残された感があつた。

東京・横濱を結ぶ新國道

東京と横濱を結ぶ京濱國道は自動車のみでも一時間に一千臺通行するといふ煩雜振りを示してゐるので、内務省土木局では、既報の如く現在の國道に並行して新國道を造る計畫を立て、土木會議に提出し、審議の結果、五月一日付官報告示を以つて同計畫が認定されたので、近く總經費一萬餘圓を以て實地測量に着手されることとなつた。

尙、新計畫路線の總工費は一千五百萬圓にして、測量が早く完成すれば、來年度より着工し、三年後に完成さす豫定である。

東京府下の林道竣工

東京府西多摩郡檜原村大澤から名勝地神戸を経て御前山に至る延長約一里半の林道工事は昨秋十一月に着工し、爾來銳意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので五月五日盛大なる竣工式が舉行された。

この林道の開通によりて神戸岩まで樂々と自動車を通ずることが出来、又氷川村から御前山までは既に林道が開通してゐるので、兩林道の連絡は奥多摩遊覽道の基準となり、今後同方面への遊覽者や登山者によりて非常に便利となるであらふ。

川崎市の道路改良計畫

川崎市都市計畫課では、中原、日吉兩村方面の發展並に將來の大川崎建設のために總工費二百萬圓を投じて、アスファルト鋪

道を築造する大計畫を立て、目下土木課と協調して、銳意設計書の作製中であるが二百萬圓の總工費の内七十五萬圓は同市が支出し、残りの百廿五萬圓は内務省の失業救済事業費を以て之れに充當する豫定である。

尙ほ、この道路改良計畫は、京濱國道の川崎市南町を起點として、南河原、塚越中原町等の新舊市街を縦貫して、高津町に出づるものと、更らにこの路線の中途の塚越から分岐して日吉村を横斷して、最近頗る人口が増加した慶大豫科校舎のある日吉臺町に通ずるものと、兩線を合せてその延長は五千八百間である。

横濱市の道路舗装計畫

横濱市内の街路は殆んど全部舗装され、國際都市としての道路美を誇つてゐるが、裏通りの道路は震災當時を思ひ出させる様な惡道路なので、市では財政の許す限り此の惡道路の改良舗装に努めてゐるが、なか

進捗しないので、來春の復興博の開催を控えて、今回十萬圓の工費を投じて山下町とビジネス・センターの關内との未舗装道路を全部舗装することに決定し、年内に完成さす由である。

神奈川縣下の國道一號線の竣工

神奈川縣下國府津・小田原間東海道國道一號線の改良工事は、總工費三十四萬八千圓を投じて、昨年着工し以來銳意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、五月六日小田原、酒匂、國府津の二町一村が聯合して盛大なる竣工式を舉行した。

同國道は延長五千五百五十八メートルであるが、この改良工事の完成によつて、陸栗毛時代の舊東海道は素晴らしいモダンなドライブ・ウェーとなつた。

埼玉縣正丸峠の一部開通

東京と秩父を結ぶ正丸峠の八年度分三千三百メートルの開鑿工事は、非常な難工事であつたため、意外に遅延してゐたが、今回見事に開通完成したので、五月十三日盛大なる開通式が舉行された。

同時の開通によりて、秩父郡下は全く貫通し、殘る入間郡下の約一里も今年度中に開通の豫定である。従つて入間郡下の改良工事が完成した曉には、熊谷、寄居方面を迂回せず入間郡下を通つて東京から從來の三分の二の時間で秩父方面へ入り込むことが出来るが、附近には景勝地が多いので東京秩父間の唯一のドライブ・ウエーとして遊覽客の往來が頻繁となるであらふ。

埼玉縣の治水橋

埼玉縣北足立郡馬宮村地内の荒川に架設中の治水橋は、昭和六年失業救済事業として總工費三十二萬圓を投じて縣直營の下に着工し、爾來約四年間鋭意工作を急いでゐたものであつたが、愈々六月末日に完成し

七月初旬に開通式が舉行されるに至つた。同橋は、最新式ゲルバー鉸桁式にして、延長三百四十五間、幅員三間、高さ水面より五十尺の縣下の第四番目の長橋である。

埼玉縣の登仙橋の開通

埼玉縣秩父郡矢納村地内の神流川に架設中の登仙橋は、昭和八年度農村救済事業として、總工費九千圓を投じて、昨年十二月二十三日着工したものであるが、今回見事に竣工したので、五月五日同橋畔に於て盛大なる開通式が舉行された。

同橋は、延長七十八メートル四、幅員二メートル九五にして、景勝地にふさはしいモダンな橋梁として村民より賞讃されてゐる。

埼玉縣下浦和・大宮間の

道路鋪裝

埼玉縣北足立郡浦和市と秩父郡大宮町とを結ぶ三哩の道路のコンクリート鋪裝工事を

は今回見事に完成したので、盛大なる竣工式が舉行された。

これによりて北足立郡芝村より大宮に至る十一哩間の中仙道の道路は、全部鋪裝されたのであるが、大宮、熊谷間の道路はコンデションが悪いから川越、松山方面及び日光方面へ行くには右道路を利用することが一番便利となつた。

栃木縣の中橋の起工

栃木縣足利市發展の表徴ともいふべき中橋は、渡良瀬川に架設されるものであるが架設計畫を樹てられて以來、既に三年、用地買収その他の難問題があつたために、起工が遅延してゐたが、今回難問題も解決したので、五月十五日盛大なる起工式が舉行された。

同橋が開通した曉には、足利市及び同方面の交通は非常に便利となるであらう。

東山地方

山梨縣下八號國道の延長

東京市より山梨縣廳に達する現在の八號國道を更らに延長して、甲府市より京都府廳に達せしめんとする八號國道の變更が五月一日付官報を以て告示され、同時に内務省土木局長の名を以つて關係府縣長官宛に通牒が發せられたが、その内容は、從來東京市より山梨縣廳まで達してゐた國道第八號路線を更に甲府市を起點として、貢川村を経て長野縣下諏訪町に至る府縣道を國道に編入の上十四號國道と合流して、京都市まで延長せんとするものである。

岐阜縣犀川橋の開通

岐阜と大垣とを結ぶ岐阜國道の改良工作は大いに進捗し、大垣から加納町までは殆んど全部完成し、目下岐阜と連絡するため

東海地方

静岡縣清水市の觀光道路

清水市では農村開發並日本平登山觀光客誘致を目的とするドライブ、ウェーの計畫をたて昭和七年度に於て、其一部を農村振

に岐阜驛西方の東海道の跨線橋の架設と先般完成した岐阜國道と連絡すべき道路の工事中であるが、この岐阜國道は所謂美濃平野を横斷するものにして、同國道中には長良、揖斐の兩大川を始めいくつもの河川があつて、工費の大部分を橋梁架設に費されたが、その最後の犀川橋は兼てより工事中であつたが、今回愈々完成した。これにより同縣下の橋梁は全部架設されたわけである。同橋は、安八郡墨俣町墨俣寺南地内に架設されたものにして、延長は五十六メートル六、有效幅員は七メートル五、橋臺はゲルバー式鋼鐵橋で、同國中一番スマートな橋梁である由である。

静岡縣の海岸道路の竣工

興土木事業を以て起工し、八年度に於て同事業繼續及失業應急事業を以て全線の八割を完成した。尙九年度も繼續事業にて鋭意工を急ぎつゝあるから近く全線の完成を見龍華寺山麓より眺望絶佳の登山道路をドライブ出来る様になるであらう。因に該道路の總延長は五六〇〇米、有效幅員は四米五五平均勾配は十五分ノ一である。

静岡縣伊豆半島の交通界に一エボツクを割すべき熱海海岸道路の改良工事は、總工費三十二萬五千五百圓を投じて鋭意工作を急いでゐたが、今回竣工したので五月二十六日縣土木部當局の検査を受け、五月二十七日より正式に自動車通行を許すことゝなつた。

尚ほ、同道路は熱海驛より衛戍病院前を右にカーブして海岸沿ひに錦浦に至る延長三キロの海岸道路にして、熱海大通りの交通地獄を緩和するに役立つであらふ。

名古屋市の街路樹

名古屋市中では、都市の緑化運動助成の一端として、街路の緑化に關する根本方針を樹立すべく公園課において、全市の街路樹の調査を行ひつゝあつたが、この程漸く纏まつた。これによると市内における街路樹の總數は一萬二十四本で、これが分布狀況は次の如くである。

- (一) 廣小路線 銀杏、プラタナス、柳、アカシヤを交へて七百八十六本。
- (二) 南大津町線 プラタナス、アカシヤ等 一千二百七十三本。
- (三) 北大津町線 プラタナス二百五十一本。
- (四) 岩井町線 銀杏四百七十二本。
- (五) 御幸本町線 プラタナス二百六十本。
- (六) 江川南線 プラタナス二百十本。
- (七) 江川北線 柳二百三十本。
- (八) 高岳南線 アカシヤ二百四十二本。
- (九) 城南線 プラタナス七十六本。
- (十) 千早線 プラタナス三百三本。

(十一) 鐵砲町線 銀杏百三十五本。

(十二) 覺王山線 銀杏五百三十七本。

而して街路樹を種類別に見るにプラタナスが第一位で四千四百九十二本次いで銀杏二千四百三十三本、柳一千九十九本、櫻一千六本、アカシヤ五百二本、松四百五十六本、ボプラ二十七本、椋二十二本、ヒマラヤシ、イダー十本、百合木七本その他四十一本となつてゐる。なほ六大都市における街路樹總數は十二萬餘本であるが、うち東京市が四割五分を占め名古屋市は一割となつてゐる。

名古屋市の道路改良計畫

名古屋市が總工費四百五十萬圓(内起債三百七十萬圓)を投じて、三年計畫にて施行せんとする第二次都市計畫急施道路改良工事の初年度分の起債額八十二萬圓が認可されたが、これが施行路線は次の通りである。これが、完成の曉には、名古屋市の交通上並に産業開發上非常な効果を招來する

であらう。

(一) 千種線 東區出來町以南豊前に至る延長四八八間、幅員十八間工事費四一九、六〇二圓。

(二) 瑞穂線 新屋敷組合から東海道に至る延長五五三間、幅員十八間、工事費一三九、四六五圓

(三) 水主町線 中川運河船溜から都市計畫第二類六號線に至る延長六七二間、幅員十八間工事費四一三、〇〇〇圓

(四) 一色線 中川運河船溜より下ノ一色電車通りに至る延長七二七間、幅員十八間工事費一六、〇七一圓

(五) 白鳥線 江川線白鳥橋

(六) 千種驛前線 千種驛前畷田町から東陽町に至る延長二一五間、幅員十三間半、工事費二七五、六七三圓

(七) 城内線 長坂町一丁目から同二丁目九番地に至る延長二一三間、幅員十三間半、工費一六九、〇二七圓

(八) 下飯田線 東區下飯田町十州樓前から

彩紅橋に至る延長一六六間、幅員十三間

半工事費は二二七、九一七圓

(九)菊井町線 枇杷島道より菊井町に至る

延長二九〇間、幅員十三間半、工費四〇

一、〇〇八圓

三重縣伊勢大橋の開通

三重縣桑名郡西桑名町より同郡長島村に至る國道一號線中に架設中なりし伊勢大橋は、總工費百七十六萬二千百圓を投じて、昭和五年九月起工されたものであるが、爾來銳意工作を急いだため、今回見事に竣工を告げたので、五月二十六日盛大なる竣工式が舉行された。

同橋は、延長一千百五メートル七〇、有効幅員七メートル五〇にして、帝都と伊勢大廟とを結び且つ本縣より愛知縣及び關東地方一帯に通ずる國家的重要路線である。従つて、同橋の竣工によりて、關係地方の發展上並國防上甚大なる影響を及すに至るであらふ。

近畿地方

滋賀縣の道路特別修理

滋賀縣土木課では、五月早々から縣下一圓に亘つて道路の特別修理を勵行することに決定したが、作業方針は從來の如き請負による缺點を除くために縣直營にて施行し、路面の修理ばかりでなく、路側修理も行ひ、沿道の美化運動を行ふものであつて、五月より十月まで六ヶ月間重要幹線(全線の五分の一)を十七萬圓の豫算で修理する由である。

尙ほ、積雪被害の甚だしかつた湖北方面の道路修理費三萬圓に就いては目下當局でこれが捻出方法を講じてゐる。

滋賀縣の草津川橋の開通

滋賀縣栗田郡草津町地内の舊東海道の草津川橋は總工費五千五百圓を投じて昭和八

年十一月起工し、以來銳意工作を急いでゐたが今回見事に竣工したので、五月六日盛大なる竣工式が舉行された。

同橋は、延長五十メートル、幅員七メートルにして、鐵筋コンクリートのモダンな橋梁である。

大阪府下の野間峠の開鑿

大阪府下から能勢妙見、京都府下山陰方面を結ぶ府縣道池田、龜岡線中の最も峻険な個所である。豊能郡東能勢村と東郷村との中間にある野間峠の開鑿工事は、二年餘の日子と三萬餘圓の經費を投じて、池田土木出張所が銳意工作を急いでゐたが、最近殆んど完成し、残りは三十尺以上に亘つて切り下げた道路を挟む兩側面の植樹、舗装のみとなり、六月中旬頃には開通の豫定である。

大阪府下の新國道

大阪と和歌山を結ぶ泉州産業道路の内第

中國地方

島根縣の交通安全週間

島根縣松江署では、自動車其他の車馬が發達し、交通複雑に比例して起る交通事故は行樂シーズンに入るとともにますます頻發の傾向にあるが、殊に松江市の道路は狹隘にして一般交通保全上憂慮すべき實情にあるに鑑みて、五月八日から交通安全週間を實施し、署員總出勤で、一般交通者の交通道徳心の喚起を促した。

尙ほ、五月十一日には、同署樓上に於て交通關係者多數を招致して、交通事故防止座談會を開き、隔意なき意見の交換を行った。

島根縣の幸橋の開通

島根縣松江市の幸橋は、總工費四千九十四圓を投じて、昭和八年十二月二十日起工し、爾來鋭意工作を急いでゐたが、今回松

二期工事個所である南海沿線諏訪の森・濱寺間及び第三期工事個所である高石町・大池間五千八百メートルは殆んど完成して、滑らかなアスファルトが初夏の陽光をうけて輝いてゐる。

同道路は、堺・濱寺間は大濱・湊・諏訪の森などの海濱線に並行し、兩側の歩道にはプラタナスが植ゑられ、そのプラタナスの間から眞帆、片帆の海が眺められ、更らに南下して濱寺公園に入ると白砂青松の美觀が眼前に展開してゐる。

大阪府下の新府道

大阪府豊能郡細河村字古江の古江橋から北方へ延長六百メートル、幅員七メートルの道路が今回見事に竣工した。

同道路は、府縣道稗田野・池田線中の一部にして、猪名川上流沿ひに對岸の能勢電と並行して、風光は百パーセントである。

兵庫縣の六甲山縦走道路

兵庫縣土木部に於て、總工費二十六萬餘圓を投じて、昨年來改良工事中であつた六甲山縦走道路の一部が今回見事に竣工したので、五月二十五日山頂遊園地に於て盛大なる竣工式が舉行された。

同道路は、六甲山上極楽谷より寶塚逆瀬川左岸に至る延長一萬一千メートルの自動車道路にして附近の風光は絶佳である。

尙ほ、同縣土木部では、寒天小屋から西宮に至る聯絡道路も地元の寄附によつて成るべく早く施工したき意向を有してゐる由である。

兵庫縣春來峠の起工

兵庫縣土木部では、昭和九年度産業振興土木事業として、總工費八萬圓を投じて、國道十八號線美方郡温泉町春來峠の開鑿を行ふことに決定し、五月一日より同時に工營所を設置し、工營所の完成次第改良工事に着手する豫定である。

江市に於て架替へられる三十四橋のトップを切つて今回見事に竣工したので、五月六日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は、延長十八メートル九八、幅員六メートルにして、橋柱は日本趣味を加味した燈籠造りの水都松江にふさはしい装ひを誇つてゐる。

岡山縣の志戸坂峠の開鑿

岡山縣津山市より英田郡西栗倉村を経て鳥取縣八頭郡山郷村より智頭町に出で鳥取市に達する指定府縣道大原智頭線中の最難關個所である中國山脈中の志戸坂峠の隧道開鑿及び道路改良工事は、總工費三十二萬圓を投じて、岡山、鳥取兩縣の工事として昨年一月起工し、爾來銳意工作を急いでゐたが、七月上旬までには完成の豫定の由である。

同峠は、中國山脈の海拔四百八十メートルの地點の横腹に開鑿したるものにして、道路としては全國にあまり例を見ないもの

にして、大隧道の煉瓦巻は日下岡山側二百九十メートル、鳥取側百メートルを終了し殘部の工事を急ぐと共に隧道内路面の鋪裝中である。

尤ほ、隧道を中心とした延長二千九百九十二メートル、幅員五メートル五の取付道路（岡山側千二百九十四メートル、鳥取側千六百九十八メートル）の改良工事も殆んど竣工しつゝある由である。

同峠の大隧道内には近く二十燭光の電燈三十二個が取付けられることになつてゐるが、由來同峠は駒返り坂と稱し、馬でも通はぬと云はれたほどの難所なので、非常な難工事であつた。

これが完成の曉には、自動車の交通聯絡が容易となり、作北から山陰山陽兩縣をつなぐ唯一の重要産業道路として大いに活用されるであらう。

四 國 地 方

高知縣の匡救道路の竣工

高知縣幡多郡中村町では、時局匡救事業として、總工費一萬三千圓を投じて、榮町より宮田小路への切り抜き榮町より幡多支應通りへの新設道路及び山際道路擴張等の改良工事を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、五月十五日盛大なる竣工式が舉行された。この匡救道路の完成によりて中村町の交通は非常に便利となるであらう。

高知縣田野町の道路

高知縣安藝郡田野町では、時局匡救及び農村振興事業として、總工費六千圓を投じて、昭和八年九月起工し、爾來銳意工作を急いでゐた町道赤地線並に松ノ下線は今回立派に竣工したので、四月二十八日同道路の出發地點である元住吉神社跡にて盛大なる竣工式が舉行された。

赤地線は田野町の西部を縦斷する唯一の町道にして、人車の往來繁く、其の終點赤

地部落は町内に於ける最も園藝の旺盛なる所にして、今回の全通により丸四園藝組合の農産物の縣外移出に非常に便利となるであらう。

九州地方

福岡縣の重要府縣道

福岡縣嘉穂郡飯塚市發展の大動脈たる重要府縣道福岡・行橋線飯塚地内の改良工事は總工費五十餘萬圓を投じて、昭和五年起工以來鋭意工作を急ぎつゝも同市中央部の家屋移轉のため遅延して今日に至つてゐたが今回家屋移轉も片付き全部の工事が完成したので、飯塚市では近く第一期大幹線工事完成祝賀會を催す由である。

同府縣道は、飯塚驛前より片島區に至る延長一千九百五十四メートル、幅員十二メートル七十のものにして、東方は天道を通じて直接人口四萬の穂波村と聯絡し西方は片島區を経て新興二瀬町と聯絡し、其の中

間には飯塚橋、榮橋、常盤橋、壽橋の四橋を抱へ眞に炭都の全貌を一新すると共に將來同市發展の大動脈をなすものである。尙ほ、全部の道路の舗装は昭和十年度の豫定の由である。

佐賀市遊歩道の百合樹

佐賀市唯一の近代的道路である東西貫通の遊歩道路珍の山、西田代間に、美しい並木が植ゑられることになつたが、縣當局では、色々と並木の種類を選擧した結果、我が國最初の百合樹（一名はんでん樹）を植ゑることに決定し、一丈内外の苗木を七メートルおきにコンクリートの舗装に植ゑつゝあるが、來年の五、六月の候になれば、線白色に黄・赤の斑點のある美麗な花が潤大な深緑の葉の間に點綴し、一層道路の美觀を發揮し、行人の眼を樂しませるであらふ。

大分縣寺床林道の竣工

大分縣大分營林署では、昭和八年度農山漁村救済事業として、玖珠郡野上村大字瀧上の寺床林道の改良工事を施工し、爾來鋭意工作を急いでゐたが、今回立派に竣工したので、五月十三日盛大なる竣工式が舉行された。

同村道は、延長二里餘、幅員一間半にして同部落の交通に便益を與へるであらう。

大分縣中津市の市場橋の開通

大分縣と福岡縣とを結ぶ中津市より鶴居村を経て南吉富村へ通ずる市場（垂水）橋の架橋工事は、總工費三萬六千圓を投じて、昭和八年十月七日起工し、爾來鋭意工作を急いでゐたが、今回見事に竣工したので、五月十七日盛大なる開通式が舉行された。

同橋は、延長百四十四メートル、幅員五メートル五の總鐵筋コンクリートのモダンな橋梁にして、大分、福岡間並に中津地方の交通に大なる便益を與へるであらう。